

土岐川庄内川 コレカラプロジェクト

実施状況と 今後の進め方について

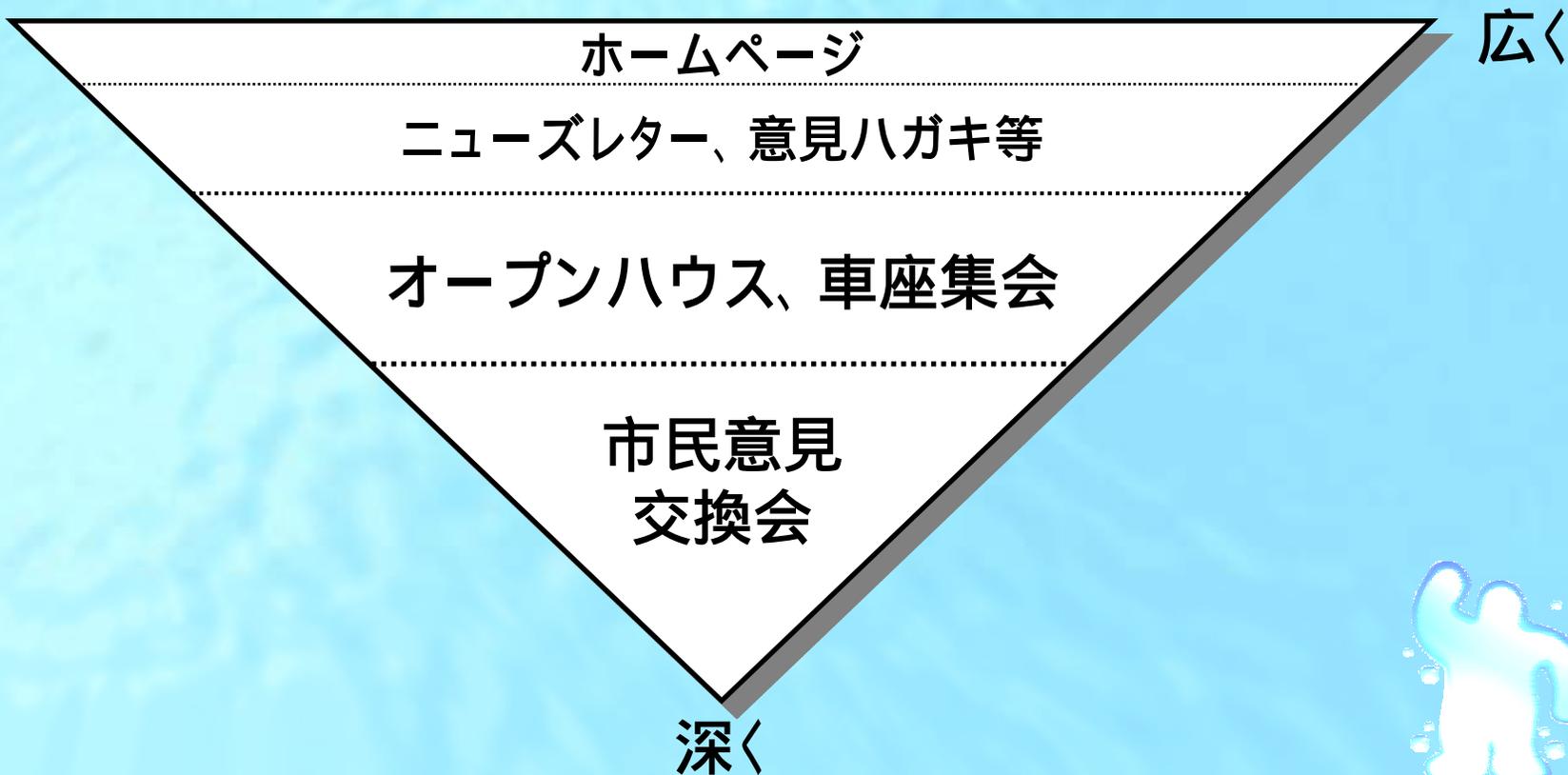
第8回 土岐川庄内川流域委員会



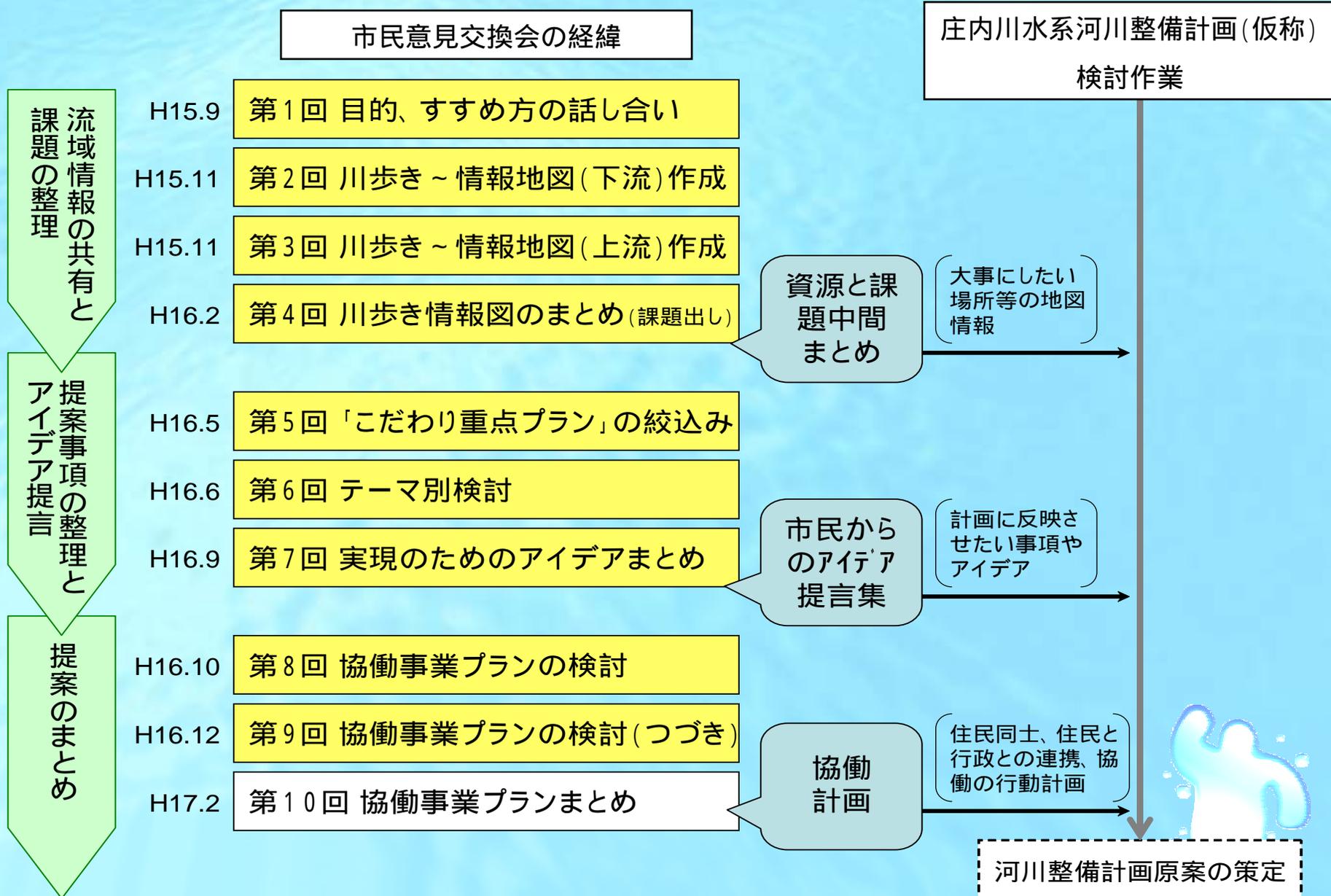
1. 地域懇談会の実施状況

(1) 対象と手法

多重多層に手法を活用して、住民に情報を提供し、意見を把握
特に沿川住民や川と関わりの深い人達とは深い議論ができるように配慮



(2) 市民意見交換会



(2) 市民意見交換会

基本的視点：川の魅力、川の豊かさに視点を当てる

「土岐川庄内川の魅力資源を活かした豊かな川づくり」ということを、河川整備計画の大きなテーマとする

【テーマ別グループ】

- 原風景・歴史
- 生態系・水質・ゴミ
- 体験・憩いの場
- 治水・防災



【提言のとりまとめ】

市民意見交換会の集大成としてとりまとめられた「提言」が事務所に手渡される(平成17年2月27日)



(2) 市民意見交換会

< 提言骨子 >

原風景・歴史グループ

『土岐川庄内川の原風景を大事にし、
周辺の歴史文化を活かす』

< 提案 >

- 1) ビューポイントを、川の見所として整備する
- 2) 旧街道との結節点や川と道が交差する橋詰めに「川の一里塚」など小広場を整備する
- 3) 川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する

生態系・水質・ゴミグループ

『多様な生態系を育む環境、ゴミのないきれいな川にするために』

< 提案 >

- 1) 生態系の拠点を核に「緑・小路・池・湿地・水田」のネットワークを形成
- 2) 市民、学校、行政で協働して育む水辺拠点を流域に増やしていく
- 3) 河川の自然を回復し、水質の向上を図る
- 4) ゴミのないきれいな川づくりを進める



(2) 市民意見交換会

< 提言骨子 >

体験・憩いの場グループ

『豊かな川体験を伝え、川を憩いの場とするために』

< 提案 >

- 1) 「川沿いにずっと歩ける道」を確保したい
- 2) 川沿いのポイントを結ぶ「体験学習回遊ルート」を策定する
- 3) 「遊べる河原」「降りられる場所」を確保し、市民との協働で「川辺の小路」を管理する
- 4) 「川を楽しむミニ拠点(川の駅)」の設置
- 5) 下流に「川遊びハウス」を設ける

治水・防災グループ

『流域全体で治水安全度を高め、地域の防災力を高めるために』

< 提案 >

- 1) 雨水貯留施設の普及や遊水池の設置など流域全体で流出抑制を推進する
- 2) 堤防の強化と水防拠点の整備を推進する
- 3) 地域の防災力を高める取組みを行う



(3) オープンハウス・車座集会

オープンハウス

庄内川流域の方々に、河川整備計画づくりの進捗状況にあわせた情報提供を行うとともに、河川整備に関する課題やニーズを把握するため、人の多く集まるショッピングセンターなどでパネル展示や意見募集などを行う場として開催しています。

平成15年3月から現在までに延べ 45会場開催

車座集会

特に庄内川沿川地域の方々を対象としてオープンハウスと同様に情報提供や具体的な場所に関する課題やニーズの詳細な把握を行うため、膝をつき合わせた形で意見交換をする場として開催している。

平成16年1月から現在までに延べ 8地区会場で開催



(5) コレカラボイス

コレカラボイスの発行

これまでにオープンハウスや車座集会などで頂いた流域住民の意見を「コレカラボイス」の形でとりまとめ、配布、公表し、住民の皆さんにフィードバックしています。

・コレカラボイスその1【課題編】

(平成16年3月)



・コレカラボイスその2【整備の考え方編】

(平成17年8月)



コレカラボイスその2 (整備の考え方編) について

整備の考え方に関する意見

1. 治水の目標を検討するにあたりどのようなことに注意するか？
2. 雨水貯留・雨水浸透対策をどのように進めていくべきか？
3. 内水被害解消をどのように進めていくべきか？
4. 治水工事をどのように進めていくべきか？
5. 水質の改善をどのように進めていくべきか？
6. 外来生物への対処をどのように進めていくべきか？
7. 堤防道路をどのようにしていくべきか？
8. 河川空間をどのように利用、管理していくべきか？

意見を分類、整理し、同様の内容同士で束ね、「意見の主旨」としてとりまとめた



2. 今後の進め方について

